

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!



2011
6
月号



花ことばは「知的な装い」
—アガパンサス(紫君子蘭)—

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第47号 2011年6月1日発行



絵:「ぼくのカブトムシ記念日」秋山 拓己(緑野小学校1年)



今号の表紙絵は第2回「やまと子ども絵画大賞」3回シリーズの最終回。
小学校低学年の部で最優秀賞を受賞した秋山拓己くんの作品です。

「やまと子ども絵画大賞」を主催した笹倉鉄平版画ミュージアム館長 小川政男さん

第2回目の「やまと子ども絵画大賞」は「ぼくのきねんび わたしのきねんび」をテーマに大和市内に居住、または市内の学校や絵画教室に在学中の小中学生から絵画作品を募集。114点もの作品が集まりました。表彰式には受賞した本人はもちろん、ご両親の喜びなど感動を分かち合う場面がたくさんありました。絵画を描くことによって自分の気持ちを表現し、また多くの人たちに感動を与えられることの力あることを発見

できる場として「やまと子ども絵画大賞」は有りたいと思います。そして、直接画家「笹倉鉄平」本人と出会いを持つこと、そのなかで何かを得ることが出来ることも意義あることと考えております。今年も、第3回目の絵画大賞を開催いたしますので、夏休み中にぜひ作品作りに取り組んで頂き、秋には多くの作品の応募を期待しております。今年のテーマは近く発表いたします。

*「あの手この手」は大和市民活動センターのH.P.ではカラーでご覧になれます。

<送付の際、同封されているご案内>

- ・第42回連続共育セミナー「一つになろう日本 in 大和」のお知らせ
- ・「共育セミナー発表団体募集」のお知らせ

協働事業提案発表会

日時:6月12日(日)13:00~

場所:勤労福祉会館 3階ホール

協働事業提案意見交換会

日時:7月10日(日)13:00~

場所:勤労福祉会館 3階ホール

~「ぴこっと」を交流の場に~

NPO法人「ピコピコ」

発達障害の子どもをもつ親の支援や不登校の子どもの対策など、「うちカフェ まちスク “ぴこっと”」で協働事業として展開したい。

(5/9(月)「センター」での相談会にて)

*「拠点やまと」は市民活動センター管理運営事業の行政型協働事業提案に応募します。

*協働事業提案発表会、意見交換会、市民活動推進補助金公開選考会は、どなたでも参加できます。よりよい活動になるようアドバイスを。

プレゼンテーションは公開です

みなさんの参加で

よりよい活動になるためのアドバイスを

あの手この手で



問題解決

市民活動推進補助金公開選考会

日時:6月5日(日)14:00~

場所:勤労福祉会館 3階ホール

*補助金交付申請書の提出は6月

~公所の酒まんじゅうの传承を~

NPO法人「なんでもプラス地域ネット」

公所に伝わる“酒まんじゅう”を作る人が80歳を越している。手間のかかる作り方を習うことでコミュニティの再生を目指したい。市民活動推進補助金を活用してDVDに残したい。

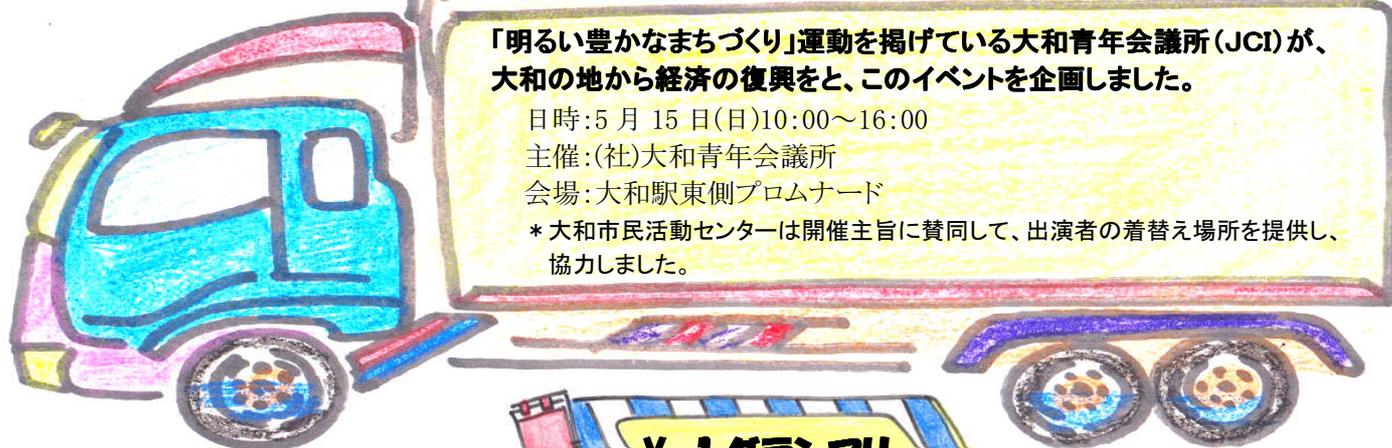
(5/9(月)「センター」での相談会にて)

東日本大震災チャリティーイベント 「一つになろう日本in大和」

一日も早い被災地の復興を願って開催しました

ステージはトラック

路上パフォーマンスで弾けました



「明るい豊かなまちづくり」運動を掲げている大和青年会議所(JCI)が、大和の地から経済の復興をと、このイベントを企画しました。

日時:5月15日(日)10:00~16:00

主催:(社)大和青年会議所

会場:大和駅東側プロムナード

*大和市民活動センターは開催主旨に賛同して、出演者の着替え場所を提供し、協力しました。

今朝は5時から準備。イベントは6~7割は天気は左右される。晴れてよかった。(実行委員長の宇山 隆さん)

Y-1グランプリ

昨年の「大和B級グルメ王座決定戦Y-1グランプリ」で初代王者となった「珍満」などが出店。

思ったより多くの人に来てくれた。踊っている子どもたちから元気をもらいました。(大和青年会議所メンバー)

県人会

「がんばっぺ“いわき”」の福島をはじめ、山形、新潟、鹿児島などの県人会が特産品を販売。

少しでも多く義援金が集まって、被災地の人たちが元気になればと、参加しました。(和太鼓 夢無想)

とれたて大和

津波で被害を受けた陸前高田。食べて応援しよう!

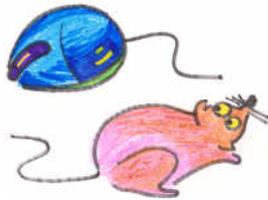
松任谷由美の「春よこい」は、遠く離れた東北に思いが届くよう、いっしょけんめいに演奏しました。(座間市少女マーチングバンド)

高業活性化センター

先週に引き続き、義援金を集めました。

ヒップホップを踊って、気持ちよかった。(小学生女子3人)





こんなに簡単にできるなんて、うれしい!

連続共育セミナー 第(41)回 5/23(月)に開催しました

IT 実践講座第3弾

「パワーポイントを使って ～プレゼンテーションも楽しく～」

講師は大和市民活動センター スタッフの望月さん

個人の持っているキャリアやスキルを社会に開いて、社会資源とする。

これが「新しい公共」。これを実践したのが今回のセミナー。

パワーポイントの作り方を「①ファイルを開く」から「⑩実際にスクリーン

に映し出す」までのマニュアルを作成して参加者に配布。

手順に従って、「くじらのしっぽ」の手塚さんがPCを操作。

時々、参加者からの質問があり、それに答えながらの進行。

プレゼンテーションが楽しくなるのは間違いないです。

*** パワーポイント作成資料をご希望の方は「センター」にご連絡を。**



私の夫です。
絵本作家です。

実際にPC操作をした
「くじらのしっぽ」の手塚郁恵さん



大和市民活動センター



タイトルを強調したいけれど



動画を入れて、
声を入れると...



あれ? 文字や絵が
動き出した! を
強調したいけれど...



このやり方の方が楽ですね!

画面が多くて印刷できる?

ビデオで活動紹介です。



配布資料も印刷できます。



作ったページを投影しま〜す!



プレゼンテーションもスツキリ!



講師の
望月則男さん

みなさんの“やる気”に
圧倒されました。団体の活動
報告に活かしてください。

「社会資源」の提供を

共育セミナーの講師、あるいは話をしてみたい
と思われる方はお申し出ください。こんな人を知
っている。こんな話を聞きたい。などの声もお寄
せください。

次回は

連続共育セミナー第 (42) 回

「一つになろう日本 in 大和」

～1日も早い被災地の復興を願って～

チャリティーイベントを企画、開催した思いを
語っていただきます。

日時: 6月17日(金) 15:00～17:00

場所: 大和市民活動センター 会議室

ゲスト: 宇山 隆さん

(東日本大震災チャリティーイベント実行委員長)

「センター」のある日ある時

4月29日(金・祝)晴れ

「センター」で南京玉すだれを教えているラッキー
さんが、生徒さん2人と一緒に、やまと商
業活性化センター主催の「負けるな東北!
チャリティーフリマ」にボランティア出演。
バランス芸を披露。息もきれぎれ、
途中で酸素吸入しながらも、
しっかり義援金を集めました。



第 128 回 5/3(火) ～子どもなりの目線で～
 <引地川水とみどりの会 こどもエコクラブ>
 「こどもエコクラブ」は 2008 年に発足し、現在のメンバ
 ーは17名。川そうじのシーズン前に、大人が深い場
 所、危ない場所などの調査をしてから、活動します。
 月に1～2回、腰くらいの深さまで入ってゴミを拾いま
 す。缶とか免許証、クレジットカード、割れた茶碗、大き
 くて四角い重い鉄の何かわからないゴミなどもありま
 す。落ちていた空き缶の中からザリガニが出てきたり、



へびの脱け殻を拾い、それ
 をみんなで切ってお財布
 に入れたりしました。友
 だちといっしょに川そうじ
 をするのが楽しいから、
 いやなことはありません。

第 129 回 5/17(火) ～住んで良かったふるさとやまと～
 <ふるさとやまと三事業推進委員会>

「住んで良かったふるさとやまと」を目指して活動してい
 ます。事業は3つあり、1つは「ふるさとやまと夏祭り」。
 阿波踊り、よさこい、花笠おどり、越中おわら節、よさこ
 いソーランなど各地のお盆踊り。「和鼓連」の方々にも
 協力いただいています。2つ目は 9 月、10 月開催の大
 和駅前で行う「ラジオ体操、太極拳」。3つ目は「環境美
 化活動」で 10 月と 3 月の年 2 回、大和駅前の清掃とプロ
 ムナードの花壇に花を植える
 活動を市内の光ヶ丘中学校地
 区家庭地域教育活性化会議と
 合同でやっています。自治会
 の方、中学生のボランティアも
 たくさん参加します。



第 130 回 5/31(火) ～教える側がいきいきと～
 <NPO 法人大和いきいきクラブ>
 長年の経験とスキルを生かして「地域のために何か
 できるのでは」と、定年退職者が集まって、平成 20 年
 に発足。最初に手がけた活動は「シニアパソコンクラ
 ブ」。120 回も通っているお年寄りも小学時代のアル
 バムを整理している。やればやるほど奥深く熱中す
 るとか。そんな中で、教える側がいきいきとしてくるん
 ですと話す。メンバーの片山さんはプロ野球引退
 後、原点である野球がサラリーマン生活に役にたっ
 た。そんな経験と人脈を基に、野球に興味を持った
 子どもたちに関わるコーチを
 養成するグループを上げた
 い。挨拶がコミュニケーション
 の基本と考える。「挨拶のでき
 る子を育てたい」と、語った。



<これからの出演団体>

- 第 131 回 6/7(火)大和市芸術文化振興会
- 第 132 回 6/21(火)つきみ野自治会まちづくり委員会

★やまとっこ☆みつ付★やまとっこ☆みつ付★やまとっこ☆みつ付★

「センター」のある日ある時

5月15日(日)晴れ

東日本大震災チャリティーイベント「一つにな
 ろう日本 in 大和」に出演の座間市少女マーチ
 ングバンドの子どもたちは、「こんにちは」「あり
 がとうございます」と爽やかな挨拶。着替えた
 後の会議室は整然としていた。楽器は会場に
 置いてきたとか。「センター」から演奏していけ
 ば、ほんとうのマーチングになったのにな。

エアコンが壊れ、猛暑の中一週間を
 耐えた夏以来、家では冷房なしでも
 平気になった。凍らせたペットボトル
 が『巻いてひやりんこ』があれば丈夫
 夫。(中山みゆき)

節電でも健康第一。自分が作る環境
 に甘えていないか？電気が今ほどな
 かった時を思う。汗をかく。水を飲む。
 日陰で風を感じる。(浅見正明)

電車の中、スーパー、デパートなどは
 寒いくらいにエアコンを効かせ、上着
 なしでは外出できなかつた。今年の夏
 は節電効果で汗をいっぱいかき、案外
 快適な夏になるかな？(櫻井貞代)

セツデン？ そんなこと昔からとっ
 くに「節電」している。冷暖房超嫌いの
 小生、夏は専ら団扇(うちわ)、冬は
 湯たんぽなのだ。(小杉皓男)

熱血編集後記

テーマ:私の節電

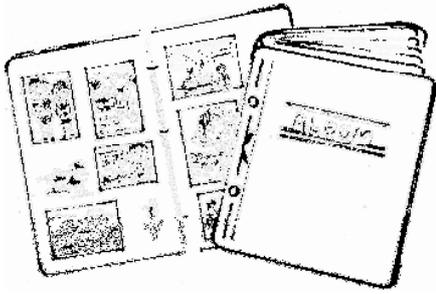


豊さとは何かを改めて考え、享受して
 きたものの仕分けをしています。こま
 めでない私が今すぐ実践できること
 は、こまめに消すこと！(関根孝子)

暑い休日の午後。ひとり部屋にいと
 クーラーがもったいないので、図書館
 で過ごすことにしている。今年は図書
 館も暑いだろうか…(村山真弓)

電車運休、輪番停電などで本当に電
 気の有難さが分かりました。電源
 OFF、負荷要求 OFF、スイッチ
 OFF。そして、私の節電マナーは ON
 になりました。(望月則男)

我が家は照明をすべて LED にし、西
 と北の道路側にはジャスミンのグリー
 ンカーテン。南はキウイの棚。おかげ
 で夏のエアコン使用がグンと減りまし
 た。次はソーラーかな。(石川美恵子)



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
月刊広報紙「あの手 この手」。
6月号(第47号)をお届けします。

アルバムと位牌（いはい）、そして卒業証書。

5月11日（水）福島県川内村、福島第1原発から20km圏内に住んでいた人たちが一時帰宅した。滞在許可の時間はわずか2時間。我が家から持ち出しを許された、たった70cm四方の袋に、なにを選んで多くの人は懐かしい自宅を後にしたか。

避難所に戻った人が「これだけは持ってきた」とテレビカメラに向かって、袋から出し話したものの代表が「アルバム」と「位牌」、「卒業証書」だった。

そして、5月24日（火）朝のNHKニュース。

東日本大震災で大きな被災に遭った石巻市の市役所では、来月から思い出の品々を持ち主に届けることに取り組む。泥に汚れた、やはりアルバム、写真、位牌、ランドセルなどをきれいに洗い落とす臨時職員を6月から10名増員して、発見場所をパソコンに入力し、公開するとあった。

あの津波に歩んできた人生の今までを一瞬のうちに根こそぎ奪われた人たち、原発事故で住んでいた土地、町から追い出されるように避難を余儀なくされた人たち。「今、私は生きている、ここにいるぞ」と確かに自分が拠（よ）って立つ心の支えとして、「アルバム」のなかにある写真を必要とした。そうか、人はきちんと自分の過去を確かめなくては次に歩を進めないのだということを教えられる。自分が知る過去を切り取ったたった一枚の写真と再会することによって、それがこれからの未来を歩む背中を押してくれる。前向きの人生を取り戻してくれる。位牌も卒業証書も同じことが言えるのだと思う。

ところで、

東日本大震災からの復興・再生を被災地から考える「毎日新聞・震災フォーラム」の会合が開かれたというニュースが5/21付け毎日新聞にあった。この「フォーラム」メンバーのひとり、松原隆一郎（東大教授）さんは阪神淡路大震災の体験から「(失ってしまった) 町を追悼する儀式が必要だ。(それをきちんと経なくては) 新しい町ができたときの喪失感は大い」と語ったと記事にあった。

「町を追悼する儀式」。

なるほど。過去をしっかり見届け、確かめ合うことで、再生された町に両足で立つことができる。写真一枚で自分の未来を歩むことができるように。 記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2011/05/30

